



Sustainable Society Study (SSS) 1st Year High School Class



2020/04~11/21 SSS（高校1年生）—授業—ONLINE

本年度より本校が文部科学省のWWL(World Wide Learning) コンソーシアム構築支援事業の拠点校となり、プログラムのテーマをこれまでにSGHで取り組んできた「環境問題」から発展させ、環境に配慮した理想の街の探求をテーマに「街づくり」としました。グローバル化が進行する世界において、世界的に解決すべき問題（グローバル・イシュー）を取り上げ、「まちづくり」をテーマに、持続可能な社会を目指す先進的事例について学びます。必須科目としての高校1年生の講座の名称は Sustainable Society Study (SSS) です。基礎的な知識の習得に加え、リサーチやレポート作成、ディスカッションなどの基礎的なアカデミック・スキルズを習得し、また、実際に国内で先進的解決が行われる地域へのフィールドワークも行う予定です。

担当教員は帖佐香織教諭（社会科）、福田なな子教諭（数学科）、松野翔太教諭（情報科）、西田喜久夫教諭（国語科）、坂下淳一教諭（理科）、佐藤友亮教諭（社会科）と山田 Sean Thomas 教諭（英語科）の7名です。多様なバックグラウンドの教員によるチームティーチングによる講座ということも大きな特長の1つです。新型ウィルス拡大の影響で、1学期はオンラインでの開講となりましたが、オンラインの良さを活かした工夫も取り入れられました。

【7月7日 グローバル化の定義のまとめ】

6人の担当教員によるインタビュー動画配信

以前の講座で生徒たちが定義づけをしたグローバル化。その中から担当教員6人がそれぞれ取り上げた定義についてディスカッションをしました。

オンライン①グローバル化の定義1（帖佐教諭 / インタビュアー 山田教諭）

グローバリゼーションとは...

各国が経済的、文化的に結びつくことを表す用語。製品、技術、情報、雇用が国境を越えて広がる事。競争を激化させ、企業がより低コストでより良い製品を生産することが可能に。コストが下がることでより少ないお金でより良い生活ができる。

帖佐：今の状況に合ったグローバリゼーションの定義だと思います。まさに経済、文化、お金、人が国境を越え活動しています。

山田：負の連鎖も？

帖佐：様々なモノの行き来が瞬時になり、リーマンショック、株価暴落、まさに今ならコロナの感染拡大といった負の連鎖もあったという間に国境を越えていきます。

山田：発展途上国への影響は？

帖佐：グローバル化の影響で特に医療面など発展途上国の生活水準が上がったことも確かですが、先進国の価値観が正しいとも限らないといった懸念も考慮すべき。



オンライン②グローバル化の定義 2 (山田教諭 / インタビュアー 帖佐教諭)

グローバリゼーションとは...

一人一人がただの一国の一員ではなく、全世界の一員になること。互いに重要な関係で、不可欠な存在であり、問題のある時は一緒に責任を持って協力する、より良い世界を作っているための共同体。

帖佐：違う環境、価値観の人達と協力することは難しいが？

山田：Acting Locally and being concerned Globally and trying Globally.

誰もがができることで、グローバリゼーションの最初の学びだと思う。同じ価値観の人達で世界の物事を決めることは危険、違いを受け入れお互いを尊重することです。

帖佐：私達の学校も多様な生徒、教員で成り立っていますね。

山田：身近な関係でもお互いの価値観を押し付けることは正しいことではないですね。



オンライン③グローバル化の定義 3 (松野教諭 / インタビュアー 山田教諭)

グローバリゼーションとは...

世界中の文化や政治、経済が一体化するまでの過程を言うと考えた。一体化した世界ではなく、世界が一つの国のようになるまでの過程。様々な国際交流、貿易、人の行き来が盛んになっていくこと。

グローバリゼーションは私達が日々生活しているなかで関わりたい、関わりたくないを選択できるようなものではなく様々な場面でそして様々な方向性で影響をしているということができる。それは私達の生活をより豊にも、そして便利になる一方で私達の生活は発展した技術に捕らわれて行く生活へ向かっているとみえる。

日々の技術革新により日に日に加速し、さらに国同士、地域同士が強く影響し合い、文化の統一や世界的大企業への資本の集中も促している。

山田：なぜ文化・政治・経済が焦点になるのか？

松野：それらは常に我々を取り巻いているもので、集団を強く結びつけているものだから。

かつては軍事力が求められたように、現在では強い経済力が富の象徴になっている。

山田：発展した技術に捕らわれるとはテクノロジーの依存？

松野：テクノロジーの依存は今ではありとあらゆるものに広がっている。ネットコミュニティーは民主的な集団からより多様化することになり、権力者による監視、統制、またプロパガンダの拡大の手段と成り得るように。非民主的な体制を助けることにもなっている。デマ、フェイクなど今や誰の手によってもできてしまうように。

山田：AI については？

松野：AI 技術は過去のデータの蓄積であり、その判断にのみ頼っていると過去の差別、偏見を拡大してしまう危険性もある。テクノロジーのグローバル化でそういった負の側面があることも伝えたい。



オンライン④グローバル化の定義 4 (西田教諭 / インタビュアー 山田教諭)

グローバリゼーションとは...

今まで1つの国で考えてきた問題を、世界中の国々で一緒に考え、解決していくこと。しかし、協力するだけでなく、様々な国々が競い合う事でより良い世界に発展していくこと。

山田：国が自分達だけで対応できなくなった問題とは？

西田：必要なものを自分達の国だけでまかなえなくなったことが始まり。問題も同じ、例えば地球温暖化なども自国だけではもはや解決できない。

山田：より良い世界にするためには今後どのような変化が必要か？

西田：international が国と国のつながりで、global は世界という1つの集団だと考えます。世界の問題に向き合うとき、同時に自分達がどうしたら幸せになれるか、自分達の所属している地球を考える、世界に気持ちを持っていく必要性を感じる。



オンライン⑤グローバル化の定義 5 (福田教諭 / インタビュアー 山田教諭)

グローバリゼーションとは...

人と人との「違い」を知ることです。単に日本と外国との関わりや英語でのコミュニケーションが本質ではないと考えます。海外での生活を経験し、自分の家族や友人との間でだってグローバル化は成し遂げられるとわかりました。特別なことではなく、相手のことを深く知る＝違いを知る。チャンスは皆にあり、それこそ私はそれを見つけるために同志社国際を志望したといえるかも知れない。

山田：どうすれば「地球市民」に？



福田：自分が地球市民だという意識を持つ。地球市民とは国境を越えてより良い世界にしていこうと行動を起こす人。ただ、実際に国境をまたぐということではなく、Think Globally Act Locally. まず知識をしっかり身に付けて、「知る」ことで自分がより良い世界になる小さな歯車の1つになることからスタート。次に、実際に自分の目で確かめること。経験してみること。

オンライン⑥グローバル化の定義6（坂下教諭 / インタビュアー 帖佐教諭）

グローバリゼーションとは...

ヒト・モノ・カネが国境の枠組みを超えて移動し、国の相互依存性が高まり経済や政治などが国際的なレベルで機能していくこと。またこれにより古い生活様式が根絶、また国内の政治がおろそかになってしまうデメリットもある。

帖佐：この定義ではヒト、モノ、カネに限定されているが？

坂下：情報も大きな要素。肯定的な定義が多い中、否定的な部分もあえて取り上げてみたかった。

帖佐：伝統的なライフスタイルの根絶？

坂下：例えば **amazon** で買い物をしたらベトナムで生産されアメリカで加工されたものがすぐに届く。それは世界の基準を作り、均質化、同質化していくことへも繋がっている。また企業は競争し安価な製品のために安い労働力を求めた結果、世界規模の企業が生き残り、地域産業は衰退している現状も。そういった負の面にも触れ、これからは統一するのではなく、違いを認めながらそれを楽しむことが大切だと感じる。



2020/04~10/31 SSS（高校1年生）—授業—ONLINE

【5月29日 「住みたい街」リサーチ・アンケート結果公表】

グループワークによるスライドの制作開始

【6月5日 「住みたい街」リサーチ】

グループワークによるスライドの制作
役割分担

【6月27日 「住みたい街」スライド共同編集】

スライド制作の途中報告
各自リサーチ資料の提出

【7月13日 「住みたい街」リサーチのフィードバック】

グループワークによるスライドの完成版提出

【7月20日 「住みたい街」北欧の暮らし-ストックホルムと繋いで遠隔講座】

オンライン⑦ ストックホルム（スウェーデン）在住の講師の方をリモートでお迎えして動画配信

講師：Akseli Gardemeister さん（ストックホルム在住/ 過去に横浜に在住経験有り、日本に関わる仕事に就くことを目指し来年4月より京都大学に留学予定）

参加者：帖佐教諭・福田教諭・坂下教諭・松山かなこさん（卒業生/ノルウェーに留学経験有り）

スウェーデンの魅力について、町並み、交通、働き方、電力や税金、生涯学習も含めた社会システムについても話が及びました。お話から、どちらかというとな個人的な利便性や、企業が競い合い経済活動を優先している日本、それに比べてより社会的な景観や環境、個々の発展というよりは公平性、また家族や友人との時間など個人の時間を優先するスウェーデンという違いが浮かび上がってきました。またその価値観を育てているものは、教育が大きく関係していることも理解しました。メルボルン、ノルウェー、フランスなどで生活の経験のある参加者の意見からも、人々の価値観や生き方が街の雰囲気を作り、家族と仕事、自分の時間と仕事のバランスなど人生の目的において、日本だけが少し違っているのかなという印象を受けました。日本の先進的で活気のある街が好きだというアクセリさんの



またその価値観を育てているものは、教育が大きく関係していることも理解しました。メルボルン、ノルウェー、フランスなどで生活の経験のある参加者の意見からも、人々の価値観や生き方が街の雰囲気を作り、家族と仕事、自分の時間と仕事のバランスなど人生の目的において、日本だけが少し違っているのかなという印象を受けました。日本の先進的で活気のある街が好きだというアクセリさんの

ご意見から、日本とスウェーデン、どちらも違ってどちらも魅力といえるかも知れないという気付きもありながら、改めて自分の理想の街、生き方を考える機会となりました。

最後にアクセリさんは、参加者の質問から、高校生に戻るならやはりスウェーデンの高校生がいいと答えられました。スウェーデンでは受験勉強に追われる受験システムがないことから、自分や将来について考える時間が多くあることも興味深い点でした。アクセリさん、ありがとうございました。

【夏休みの課題】

「住みたい街」のスライドの完成

教員からフィードバックのあったものを、グループで連絡を取り合い修正して完成させてください。(提出期限：9月1日)

2020/09/04 SSS（高校1年生）—授業—ONLINE

新型コロナ禍の短い夏休みも終わり、例年ならあちこちに出かけたという話が聞こえてくるようですが、今年は自粛し家で過ごすことが多かったことと思います。それでも世界では日本を含めて豪雨による大きな洪水の被害、山林の大火災、そして北半球で史上最も暑い夏が観測され、気候変動の危機がもたらしたものに意識を向けた人もいたと思います。この講座では引き続きグローバルイシューを取り上げ、持続可能な社会を目指す先進的事例から、基礎的な知識の習得、考察、そして皆で話し合い、問題と向き合う学びにしたいと考えています。1学期に引き続きのオンラインならではの工夫も凝らし進めていきます。

私たちの学び SGH から WWL へ

オンライン⑧ 講師：帖佐香織教諭、坂下淳一教諭

これまでの本校での5年間のSGH(Super Global High school)の取り組みを振り返り、さらに今後のWWL(World Wide Learning)での学びの展望について紹介します。

SGHでの学びの目的は「環境先進国に学び、世界に提言」というテーマの元、環境先進国や都市について調べ、私達にできることを提案し実行すること、そうした行動ができるリーダーへと成長することでした。私たちが注目してきた環境先進国の都市は約20あまり、そのいくつかを振り返ります。また実際に海外フィールドワークでは厳選した5、6都市を訪問する予定です。



同志社国際高等学校 高校1年生 Sustainable Society Study

●都市のサイズ別に環境先進国の村・街・都市の特色

小さな村（人口数千人）

フラウエンキルヒェン（オーストリア）→ 風力発電

フライアムト・ブライトナウ（ドイツ）

→様々な環境に配慮した取組みと地域熱暖房、人々の環境への意識の高さ

中規模な街（人口10万~30万人）

フライブルク・カールスルーエ（ドイツ）・ストラズブール（フランス）・マルメ（スウェーデン）

→街の賑わい、公共交通の充実、環境政策の充実と全ての施設が揃うコンパクトシティー

大都市（人口70万人~90万人）

フランクフルト（ドイツ）・コペンハーゲン（デンマーク）・アムステルダム（オランダ）

→自動車道の整備と公共交通機関利用の連携、愛されるゴミ処理場

それ以上の大都市（人口 100 万人超）

ストックホルム（スウェーデン）・ハンブルク・ミュンヘン（ドイツ）・ウィーン（オーストリア）

→環境に配慮された再開発エリア、古い街の景観を活かしたりノベーション、梱包無しの量り売りの商店

それぞれの村、街、都市で取り組まれていた様々な環境政策には規模や特色を活かした工夫がありました。その中でも全体像が見渡しやすく、私たちの学校のある京田辺とも近い規模でもある中規模な街に焦点をあてていきます。WWL では「街づくり」をテーマとしましたが、その理由は環境問題に取り組む時、決して環境問題のみにとらわれず、街全体の取り組みとして過疎や住みやすさ、特色や古さを活かした美しさなど総合的なアプローチが必要だという気付きがあったからです。また環境先進都市に住む人々に共通することは、自分達の街が好きで誇りを持っているということでもありました。そこで、住みたい街をデザインしてみることで、環境問題の解決、さらに私たちの生活の豊かさの本質についても考えてみたいと思います。テーマを持って街を見直してみると新しいアイデアや気付きがあるでしょう。

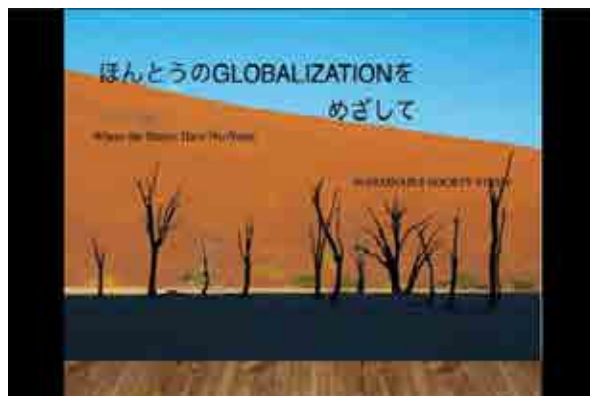
過去の欧州フィールドワーク参加者は大変な充実感を得ました。現在でも卒業生達の間で環境問題に関する情報交換が継続中であるエピソードからもそのことがわかります。



MDGs から SDGs へ

オンライン⑨ 講師：帖佐香織教諭

グローバルイシューを学ぶ上で、大変重要な、世界で取り組まれている開発目標について学ぶ講座です。今日は「ほんとうの GLOBALIZATION をめざして”Where the streets have no name”」というトピックスで話を進めていきたいと思えます。これは、住んでいる通りで住民の階級や収入までがわかる現実の社会から、街の価値観や社会の価値観が人を



縛ったりしない社会を求めた気持ちが歌の歌詞にもなったものです。人々が区別なく皆が平等で幸福な世界になるためにはどうすればよいのでしょうか。

●MDGs (ミレニアム開発目標 Millennium Development Goals)とは

開発分野における国際社会共通の目標として、2000年9月にニューヨークで開催された国連ミレニアム・サミットで採択された「国連ミレニアム宣言」を基にまとめられました。グローバル化が特権を持った人だけでなく全ての人に機会を与えるものであるよう、世界が抱えている問題を整理し、極度の貧困と飢餓の撲滅など、2015年までに達成すべき8つの目標とより具体的に示した21のターゲットを掲げました。そして達成期限となる2015年までに一定の成果をあげました。問題を測定し数値化、その数値を期限までに達成すること、そして期限までのプロセスも具体化されたことも達成へのモチベーションとなりました。

●SDGs (持続可能な開発目標 Sustainable Development Goals)とは

2001年に策定されたMDGsの後継として、「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標として2015年9月の国連サミットで採択されました。MDGsの大きな成果の陰で、最も脆弱な人々が置き去りにされ格差が残っている現状から、17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind)」ことを誓っています。SDGsは途上国の開発問題が中心で先進国はそれを援助する側という位置付けだったMDGsから、発展途上国のみならず先進国自身が取り組む共通の課題、ユニバーサル(普遍的)なものとして設定されています。

個人でもMDGs報告書を読んでみて欲しいと思えます。MDGsの達成報告で、2015年

までに 10 億人以上が極度の貧困から脱却し、また開発途上地域における栄養不良人口の割合がほぼ半減したともされる一方で、未だに年間で 8 億人の子どもが 5 歳になるまでに死亡、紛争により難民の増加などもあり 8 億 8 千人がスラムに暮らしているとされています。発展の陰で気候変動などの環境悪化により被害を受けるのは貧困層です。こうして国連に加盟する全ての国は、全会一致で採択したアジェンダを基に、2015 年から 2030 年に、貧困や飢餓、エネルギー、気候変動、平和的社会など持続可能な開発のための諸目標を達成すべく力を尽くすことになりました。開発目標はカラフルで見やすく身近に感じることができる表示になっています。見かけることが多くなっているのではないのでしょうか。



この講座を通して、全ての人が全ての場所から行動を起こすことの必要性、私達は何かできるのか、73 億分の 1 としてできることがあるはず、皆で勉強し、思考し、議論して、1 人 1 人が豊かな世界を築いていく一員になれたらいいと思います。次回は SDGs についてより具体的に詳しく学びます。

最後に、昨年度の講座で今の校長先生が残したこのような言葉も紹介したいと思います。

「自分の幸福が、地球上の誰かの犠牲の上に成り立つものであってはならない」

SDGsの具体的な内容について

オンライン授業⑩ 講師：帖佐香織教諭

本日のSSS講座では、前回に触れたSDGsについてより具体的に詳しく学んでいこうと思います。

●SDGs(Sustainable Development Goals)の17の目標



世界人口の11%にあたる7億人を超える人々は依然として、極度の貧困の中で暮らし、1日1ドル90セント未満で生活する人々は全体の70%を占めている。

→2030年までにあらゆる形態の貧困に終止符を打つ。



世界で飢餓に苦しむ人は増え続け、2017年には9人に1人に達している。地球上のすべての人に十分な食糧があるのに、飢餓に陥る人がいるのはなぜか。

→飢餓に終止符を打つ。



毎年5歳を待たず命を失う子供の数は600万人を超え、開発途上地域では必要な医療を受けられる女性は全体の半数に過ぎない。

→あらゆるすべての人の健康な生活を確保し、福祉を増進する。



質の高い教育を受ければ貧困の連鎖を断ち切ることができ、教育は不平等の是正とジェンダーの平等達成に貢献する。だが開発途上国の小学校就学率は91%に達した一方で、依然として700万人の子どもが学校に通えていない。

→すべての人に包摂的で質の高い教育を確保し、生涯学習を促進する。

(包摂的とは、英語で inclusive、全ての人を取り残されず含まれることを意味する)



2014年時点で143ヶ国が男女平等を憲法で保障しているが、52ヶ国ではまだこの規定はない。児童根は男児より女児に圧倒的に多く、15歳から49歳までの女性の35%が身体的暴力や性暴力を受けている。

→ジェンダー平等は基本的人権の一つであり、達成しなくてはならない。



世界人口の 10 人に 3 人が、安全に管理された飲料水サービスを利用できておらず、約 18 億人が汚染された飲料水源を利用し、トイレや公衆便所など基本的な衛生施設を利用できない人も約 24 億人を数える。毎年数百万人が命を失い、生物多様性と生態系のレジリエンスがさらに失われる。

→水資源を持続可能な形で管理し、食糧やエネルギーの生産管理を改善し、ディーセント・ワーク(働きがいのある人間らしい仕事)や経済成長にも貢献できるようにする。



化石燃料を用いた発電により、炭素燃料の増加で大量の温室効果ガスが発生し気候変動を引き起こす。電力を利用出来ない人も 10 億人弱にのぼり、電力の普及が最も遅れているアフリカ 16 ヶ国では、女性や女兒は何時間もかけて水を汲みに行き、多くの生徒は暗くなってから勉強もできない。

→各国は再生エネルギー源に投資し、省エネの実践を優先課題とする。自家用車の利用を自転車や公共交通に代えることで炭素排出量を削減することもできる。



安定した賃金の高い仕事がない限り、貧困の根絶は達成できない。1 日 1.9 ドル未満という貧困ラインで暮らす人々は 22 億人近くに達し、ILO の統計では、世界人口の 5.6%が失業している。

→すべての人にとっての包摂的で持続可能な経済成長と雇用、ディーセント・ワークを促進する。ディーセント・ワークとは、公正な所得、安心できる職場と家族の社会保障、自己啓発と社会的統合のより良い見通しを提供できる生産的な雇用に誰もが得られる機会を意味する。



基礎インフラが多くの開発途上国で未整備となっている。開発途上国では、産業的な加工を経た農産物が全体のわずか 30%程度に過ぎない。

→開発アジェンダの推進には産業が中心的役割を果たす。強靱なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を促進し、技術革新を育てる。



所得や性別、年齢、障害の有無、性的指向、人種、階級、民族、宗教、機会を理由とする不平等は政界各国の中でそして各国の間で根強く残っている。不平等は長期的な社会と経済の発展を脅かし、貧困削減を阻み、人々の達成感と自尊心を破壊する。

→すべての人の尊厳ある暮らしを確保することは可能であり、義務である。すべての人にとって地球をよりよい場所にする。



★私たちがより重点項目として取り組もうとしている★
世界人口の半数にあたる 35 億人は現在、都市で暮らしているが、この数は増加を続ける見込みである。スラムの住民は 8 億 3300 万人を数え、地球上の陸地面積のわずか 3%にあたる都市がエネルギー消費量の 60~80%、炭素排出量の 75%を占めており、ずさんな都市化計画の

代償は世界のあらゆるところで巨大化するスラム、交通の混乱、温室効果ガスの排出、郊外の無秩序な拡大という形で姿を現している。

→大半の人の未来は都市部にあるため、貧困、気候変動、医療、教育など、人類が直面するいくつかの課題への解決策は都市で見つけなければならない。



毎年生産される食糧の全体の約 3 分の 1 に相当する 13 億トンが消費者や小売業者のもとで開封されないまま腐ったり、ずさんな輸送や収穫によって廃棄される。繊維産業は農業に次いで第二の水質汚染源となっているだけでなく、開発途上地域の労働者を搾取しているファッション企業も多くある。

→消費と生産のパターンをかえるための行動を起こし、持続可能な消費と生産のパターンを確保する。



人間の活動に起因する気候変動は、私たちの生活様式や地球の未来を脅かしている。異常気象や海水面の上昇が起こりあらゆる生態系に悪影響を及ぼす。

→パリ協定ですべての国が気候変動への取り組みを約束、緊急の対策を取ることが必要。



海辺に流れ込むゴミの量が増え、環境と経済に大きな影響を及ぼしつつある。世界の珊瑚礁全体の約 20%が事実上破壊され回復が見込めない、また漁業部門における経済的利益の損失は年間 500 億米ドル程度にのぼる。海洋と海岸の生物多様性に生計を依存する人々が 30 億人を超えている。

→プラスチックの利用を最低限に抑え、浜辺の清掃を行い、世界の海洋と海洋資源を保全し持続可能な形で利用する。



森林は地球上の陸地面積のほぼ 31%を占めており、16 億人近くが生計を森林に依存し、その中には 7000 万人の先住民が含まれる。陸生動植物、昆虫全体の 80%以上が森林を住みかとしているが、22%が絶滅の危機に瀕している。森林の破壊と劣化は、全生物種の生息地の劣化、淡水の水質低下、土地の劣化などを引き起こす。

→持続可能な形で森林を管理し、砂漠化に対処し、土地の劣化をくい止め生物多様性の損失

に歯止めをかける。



SDGs を達成するために、平和で公正かつ包摂的な社会が必要。
→あらゆる場所の人々がいかなる形態の暴力も受けず、また民族や信条、性的指向に関係なく、安心して生活を送れるようにする。法律や政策はいかなる差別もなく適用し、紛争は機能的な政治、司法制度を通じて解決する。



SDGs を達成するためには、各国政府、市民社会、科学者、学者、民間セクターを含む全員が結束を図る必要があります。マルチステークホルダーのパートナーシップは欠かせない。私たち全員が関係している。

—SDGs の「誰も取り残さない」とは—

出会った事のない人達と助け合うことは困難だと感じると思います。でも家族の一員、クラスの一員と同じように地球に住む一員として考えてみてはどうでしょう。そのためには想像力を働かせる必要がありますが、今私達は試されているとも思います。チャレンジしてみましよう。どのような問題があり、私達はどのようなことができるか。みんなで考えていきたいと思っています。

後日、今回の内容について、課題を出す予定ですので復習しておいてください。



【10月9日「住みたい街」スライドフィードバック①デザイン・画像の取扱い編】

オンライン⑩ 講師：福田なな子教諭・松野翔太教諭・坂下淳一教諭

今回の講座では、1学期の課題で制作した「住みたい街」についてのスライドのいくつかを共有し、まずフィードバック第1弾として、その「見た目」「デザイン」に着目。スライドは、最初の提出の後に教員からのコメントに基づいて改善し再提出してもらっています。担当の教員がそれぞれピックアップした生徒達のスライドを持ち寄り、改善前と改善後を比較しながら問題点や改善された点、今後のアドバイスについて講じました。今後の資料制作の際に役立ててもらいたいと考えています。

●背景と全体の配色に着目

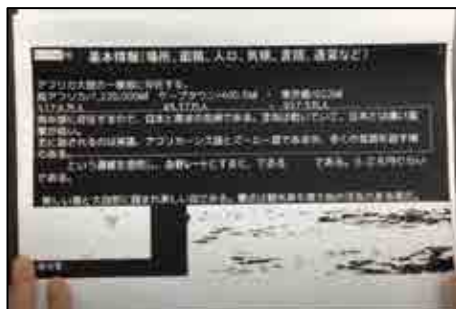
背景に原色やまた写真を持ってくると、その上の文字が見づらく、また配布資料として印刷されることになるとモノクロではさらに見づらくなってしまいます。原色の上に原色の文字も避ける方が無難です。写真の掲載で一部写真販売サイトのサンプルの転用がありますが、サンプルであっても販売サイトのもの、また会社のHPなどからも避けてください。

(改善前) スライド①②

(改善後)



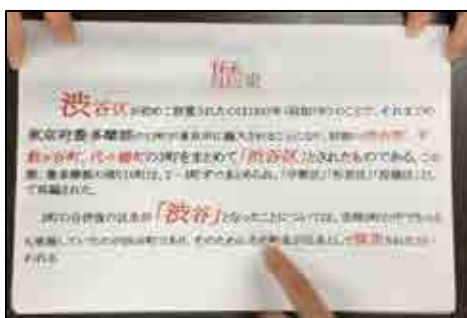
(モノクロになった場合) スライド②



美しい配色を、壮大なイメージをという最初のスライド制作の時点での意図は十分伝わりましたが、見やすさに加えて、もし資料として印刷、配付されるとしたらどうなるかといった資料を扱う側への配慮、想像力を働かせてみることも大切になります。

●文字の色・大きさ・フォントの組み合わせに着目

スライド③



シンプルでインパクトはありますが、黒と赤の文字の配色のみ、フォントの種類、強調部分が太文字で赤であることによって、内容よりも「恐怖」「犯罪」といった印象を連想させてしまいます。そのことで本来の内容が伝わりづらくなってしまいます。イメージをして伝える内容に適したものを選択することを心がけてみましょう。

●並べ方・枠組み・配置に着目

全く同じ内容であっても、枠で囲むひと手間を加えることで大変見やすくなります。また、カテゴリーごとにグループ分けをした後に枠で囲むと、何となく並べられていた情報が関連性のあるものごとに整理され、より短時間で理解しやすいものになりました。下のスライド⑤では、写真の転用元がわかるように URL を付けていて、その意図はとても良かったと思います。また後日、画像の引用については注意点や方法も含めて改めて解説する予定です。

(改善前) スライド④⑤

(改善後)





● グラフ・表のデザインに着目

データを記載する際に、ただ数字を並べたものだと比較し辛く、グラフにしたことで何がどれほど多いのか少ないのか情報が伝わりやすくなりました。さらに何を強調して伝えたいのかにより、項目のカテゴリー分け、また数字を多い順少ない順などに並べ替えると、より分かりやすく意図が伝わるでしょう。

(改善前) スライド⑥

(改善後)



● 写真の掲載に着目

スライド⑦



写真の掲載に関しては、自分で撮影したものであっても、人の顔がはっきりとわかるものの掲載については主に肖像権の観点から注意が必要です。顔が特定されないものを使用することが望ましいです。

今後もまた他のスライドを取り上げて、一緒に考察していく予定です。様々な例に触れて、改善点から多くの学びがあると共に、自分ない発想を知ることにもなるはずです。

第二弾となる講座もお楽しみに！

【10月24日「住みたい街」スライドフィードバック②データ・内容編】

オンライン⑫ 講師：福田なな子教諭・松野翔太教諭・坂下淳一教諭

「住みたい街」スライドフィードバック第二弾です。提出してもらった「住みたい街」についてのスライドのいくつかを共有し、今回はスライドの「データと内容そのもの」について着目して問題点と改善点について考えてみたいと思います。



●データの信憑性に着目 スライド⑧



沖縄の名物料理ランキングを示しているこのスライド、一見して違和感がない人もいるかも知れません。でもどうでしょう、いつ、誰が、誰を対象にしたランキングですか？このような根拠のないデータは資料として適切ではありません。

➡ ランキングや順位は外し、「沖縄の名物料理の例」として紹介することです。ずいぶん改善されます。ネット上で個人が紹介するサイトも多く目に

しますが、「その人の主観」であり資料として説得力はありません。多くの情報から信憑性のあるもの、信頼の置けるものを選びましょう。

●内容のまとまりに着目 スライド⑨



沖縄の利便性というタイトルのスライドですが、内容は「移動手段」「商業施設」「気候」など混在していてわかりづらくなっています。また1つの交通手段を取り上げていますが、沖縄での交通手段の全体像や相互関係もわからず、どのように利便性が高いのか疑問を持ってしまいます。

➡ 沖縄また那覇全体の交通の概要を紹介し、

その中で那覇の最新の交通手段である「ゆいレール」として紹介することで全体像が整理できわかりやすい内容になります。まとまりと順序立てた解説を心がけてください。

●データの選択に着目

スライド⑩



一体どこの街の食の紹介でしょう？その街の食について紹介しているはずですが、大きく紹介されたのは街のインターネットランキングで1位だったという全国どこにでもある人気チェーン??これではその街を紹介するデータとしては適切とはいえず、食文化に乏しいという印象さえ感じてしまいます。

➡ あくまでご当地のものを紹介し、さらに地域の特徴や背景といったなぜその食文化がそこにあるのかをリサーチし裏付けることで、わかりやすく理解も深まります。

●データの選択に着目

改善前のスライドは、利便性が高い順に都市を示した表と、大阪市内の電車路線図を紹介しています。大阪の利便性の高さを伝えるデータとしては、大阪の順位はこの表では4位、そしてこの表に示される偏差値の算出方法や基準もあいまいであるため、説得力に欠けています。伝えたい内容とデータがうまくリンクできていません。そこで、改善後では利便性を「交通」「生活」の二面からのアプローチに変えてそれぞれを詳しく解説、路線図も他の地域とのアクセスの良さがわかるものに切り替え、データが内容を裏付けるものになりました。出典元もより整理された記載となり改善されています。

スライド⑪ (改善前)

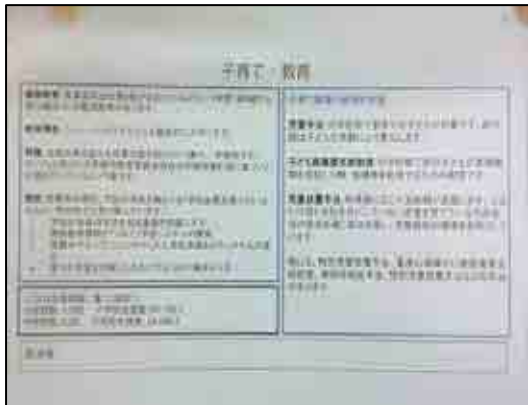
(改善後)



●データの活用と配置に着目

最初のスライドも、枠で内容が整理され見やすいものになっていますが、改善後には1つ1つの枠ごとにさらに説明を分解し、スライド⑫では「教育」と「子育て」に、スライド⑬では「治安」と「対策」に、それぞれに表や解説を付け加えることで、見やすくわかりやすくなっています。データが有効的に使われることで、見やすく、また根拠をわかりやすく示すことで説得力が増しました。1つのスライドに、情報を文字で詰め込みすぎないことも大切なポイントです。

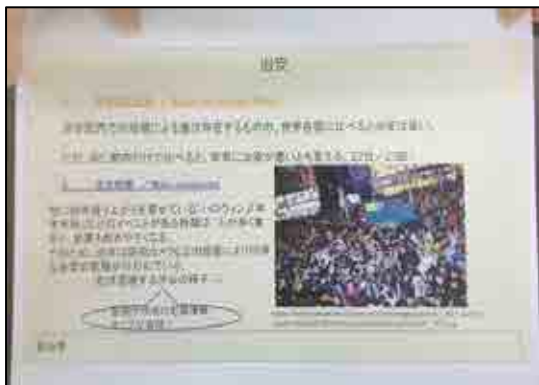
スライド⑫ (改善前)



(改善後)



スライド⑬ (改善前)



(改善後)



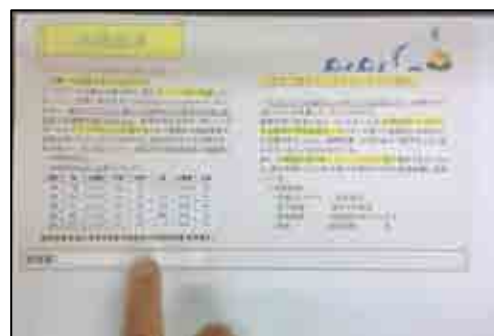
●データの活用と根拠に着目

改善前のスライドでも十分にシンガポールの経済の取り組みが簡潔に紹介されています。ただしある論文の内容を根拠に内容が記されていることはわかりますが、その論文が根拠にしているデータの出典元までは記載がありませんでした。改善後には、そこまで追求し、また内容を裏付ける図も掲載したことで、信頼性が高まり、説得力のあるものに改善されています。またデータは個人の研究で使用しているものより、信頼できる団体が発表しているものからダイレクトに引用することが望ましいです。

スライド⑭ (改善前)



(改善後)



今回の講座では、ネット上に溢れる多くの情報の中から、信憑性の高い情報を見極めて引用すること、そしてそのデータは伝えたいことの裏付けとして適切か、またどのように配置を工夫すれば見やすく伝わりやすいものになるかについて一緒に考えてみました。たくさんさんのスライドを共有しましたが、それぞれの工夫やオリジナリティーは大切にしながらも、読み手、聞き手がどのような想像をし、1つ1つ納得しながら読み進めることができるか、相手の立場に立ってみることに意識を向けてみて下さい。

今後のスライド制作にも大いに期待しています！

【10月31日 論理的に考える手法】

オンライン⑬ 講師：西田喜久夫教諭

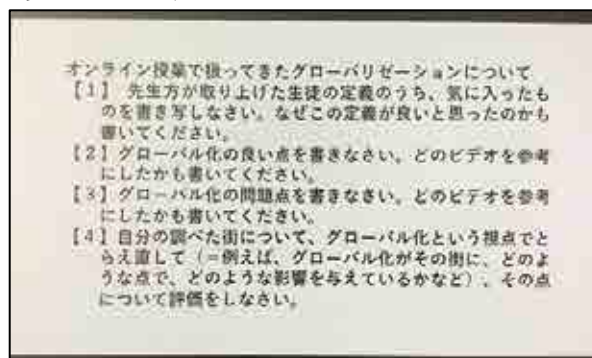


本来なら生徒達と楽しいハロウィンと一緒に過ごすところでした。今年は叶いませんでしたが、皆さんが心の中でハロウィンを楽しんでいることを願っています。

今回、次回はグローバリゼーションの問題をもとに論理的に考える練習に取り組みます。

夏休みに取り組んでもらった課題について覚えていますか？

過去の講座で、グローバリゼーションへの理解を深める学びの一環として、生徒それぞれに「グローバリゼーションとは」と定義を唱えてもらい、そこから6つの定義を教員がそれぞれ取り上げ、内容について対談をしました。それを聴講した生徒達には4つのトピックについてまとめてもらいました。



取り上げた6つの定義はそれぞれに特徴的なものでした。今回は次のステップへと進み、より深くグローバリゼーションとは一体どのようなことなのか考えて行きたいと思います。

● 「論理的に」物事を考える

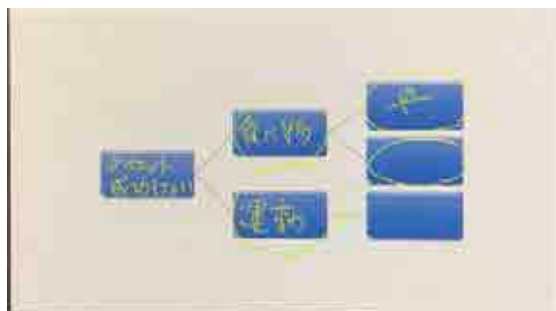
様々な考えがある中、やみくもではなく計画的、論理的にといったプロセスを大切にして考えて行きます。そこで、論理的に考えをまとめていくための手法を3つ紹介します。

① Mind Map



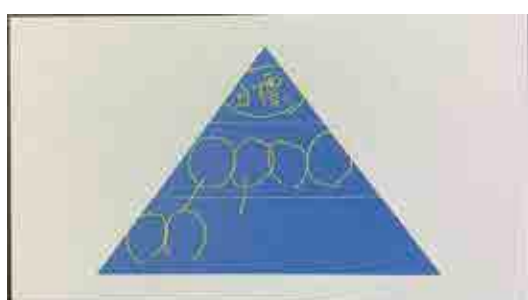
自分の意見を求められたときによく使われています。メイントピックを中心に、そこから思い付くこと、補うもの、そしてさらに外に詳細、具体的な例と、中心からどんどん広がっていきます。頭の中で考えていることを可視化することで整理しやすくなります。

②ロジックツリー



目的がはっきりしていて、達成するためにはどうすれば良いか、何を改善すれば良いかを分析したいときに使われます。この例では、達成できないトピックから、その原因をカテゴリーごとにどんどん具体化して書き出しています。事柄の漏れやダブリを防ぎながら、問題の原因を整理し解決策を導きます。

③ピラミッドストラクチャー



結論や目標がはっきり定まっているときに使われます。目標がピラミッドの頂上にあり、その目標を達成するための具体的な方法、さらにそこへ進むための方法と下に広がっています。「結論」と「その根拠」をピラミッド状に図式化しています。目標を達成するための過程を明確にし、説明や説得する際に活用します。

今回は、こういった論理的に物事を考えるということを意識し、実際に取り組むことで、考え方をまとめる方法について学ぶ予定です。

【11月7日 論理的に物事を考えてみよう】

オンライン⑭ 課題

前回の講座で、物事を論理的に整理しながら考える手法を3つ紹介しました。今回は、課題にあるトピックを選んで実際に生徒達にその手法のいずれかを使ってもらい、学んでもらうことを目的にしています。

以下のトピックスから1つを選び、その内容について、マインドマップ、ピラミッドストラクチャー、ロジカルツリーのいずれかを使って、各自考えてみてください。そしてその考えたプロセスとしてのマインドマップ、ピラミッドストラクチャー、ロジカルツリーを提出してください。3つを使う必要はありません。選んだトピックにはどのスタイルで考えるのが1番いいのかをよく考えて、1つを選び取り組んでみましょう！

●トピック

- 1 SDGsを達成するために自分ができることとは
- 2 みんなにとって住んでいて快適で楽しい街とは
- 3 環境に負荷をかけない暮らしをするには
- 4 都会に人が集中してしまう理由とは
- 5 移民など様々なバックグラウンドをもつ人が仲良く暮らすには
- 6 様々な宿題を効率よく正確に仕上げるには

2020/11/4 SSS（高校1年生）－授業－ONLINE

SDGs の理解を深めよう

オンライン⑮ 課題

今回は SDGs の理解をよりクリアにします。新しい情報の入手や、これまでの情報の整理を通して SDGs についての理解を深めてください。次週は SDGs の知識を使った活動を予定しています。しっかり学習しておきましょう。

インターネット上の情報では、たとえば以下の Web サイトが参考になります。

◆SDGs（エス・ディー・ジーズ）とは？ - 国際連合広報センター

https://www.unic.or.jp/news_press/features_backrounders/31737/

◆「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」 - 外務省

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/000101402.pdf>

◆SDGs 応援@ハローキティチャンネル [動画] - Sanrio (サンリオ)

<https://www.youtube.com/playlist?list=PLBJ-cWZxdnYeWRdNvO0hWmSicT4nex5Pr>

◆SDGs 副教材 私たちがつくる持続可能な世界～SDGs をナビにして～ ポータルサイト
- 日本ユニセフ協会

<https://www.unicef.or.jp/kodomo/sdgs/kyozai/>

◆SDGs.TV [動画] - TREE

https://sdgs.tv/tg_mov/sdgs

◆1 ページでわかる SDGs (SDGs ジャーナル)

<https://sdgs-support.or.jp/journal/sdgs/>

◆SDGs ジャーナル [動画] - SDGs ジャーナル

https://www.youtube.com/channel/UC340A5ArSJSnbBgZ3A6NfRw?sub_confirmation=1

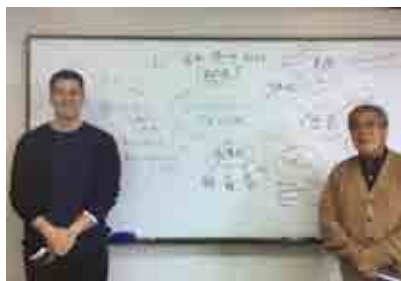
また、9月のオンライン授業の内容も改めて参考にしてください。

- ・ オンライン授業⑨（9月12日） 「MDGs から SDGs へ」
- ・ オンライン授業⑩（9月19日） 「SDGs の具体的な内容」

Mind Map を使って Globalization を深く理解する

オンライン⑩ 講師：帖佐香織教諭、西田喜久夫教諭、山田シヨーン教諭

夏休みの課題として生徒達が取り組んだ「グローバリゼーションの定義」では、共感する定義についてそれぞれ素晴らしい考え方が寄せられました。その考え方の背景として、生徒達の育ってきた環境や経験から影響を受けたものも多く、多様性に溢れ、また同時に寛容でもある同志社国際の高校生像が現れていたと思います。



今回は、そこからキーワードのいくつかを教員が取り上げ、また教員の考えを付け加えながら、先日学んだマインドマップの手法を使って整理し、より考えを深めていきたいと思います。

マインドマップの中心に置くトピックは、「Globalization/グローバル化」です。



西田

「グローバル化」→「脱差別」→「教育・人種・技術・etc.」
グローバル化の陰で、世界の人達は、教育・人種・技術などに公平にアクセスできているとはいえない。グローバル化は一方で、こういった格差をより広げている動きでもある。ただしこういった現状を常に把握し、生まれた環境などによる不公平をなくしていこうとすることもグローバル化の中でできるはず。

「グローバル化」→「お互いの良い所を取り入れる」→
「経済・文化」

情報が行き交うことにより、経済や文化面においても小国が大国に追いつくという一方的なアプローチだけでなく、その逆、大国が小国に学ぶことができるようになった。その中で問題が複雑化しグローバル化により負の連鎖もあるが、一方で国の枠を超え皆で協力し解決していくことで世界を良い方向へ導くこともできる。

帖佐



「グローバル化」 → 「新しい文化・概念を学ぶ」 → 「global mindset」

新しい文化や概念を知ったとき、理解不能であったり抵抗を感じることもある。そこで自分が持っている日本の価値観や思考だけを支持するのではなく、固定概念にとらわれない意識を念頭に、皆で社会を作り上げていく。

山田



「グローバル化」 → 「言葉の壁」 → 「英語」

「inclusive/exclusive」 → 「歴史的背景/世界大戦」

そもそも英語が世界の共通言語であることで、グローバル化のブレーキとなっていないか(Exclusive)。様々な言語で意思疎通ができれば、皆が参加し皆ががんばれる世界になれるはず(Inclusive)。歴史を振り返ると、そもそも EU ではお互いの言語を学び合っていたが、2つの大戦を経て世界の情勢は大きく変わり、結果的にアメリカが台頭したことで、英語が主になっている。

西田

「グローバル化」 → 「共同体」 → 「家族・結びつき・まとまり」

グローバル化では、国単位にとどまらず様々な共同体で物事に対応している。小さい共同体としては家族もそれぞれが違う価値観を持ちながら助け合っているといえる。では代表的な国際組織である「国連」はどうか。そもそも大戦の戦勝国を中心に結成され、圧倒的に決議を左右する常任理事国は未だにその5ヶ国である。ここでは果たしてグローバルスタンダードに立っているといえるのかと疑問を抱く。先ほどの共通言語としての英語の例と同様、現在の当たり前についてその背景を遡り、改めてグローバルという観点に立ち見つけ直してみてもどうか。本当の共同体とは、そこに意識を向けることが真のグローバル化を目指す上で大切ではないだろうか。

山田

「グローバル化」 → 「Pros/Cons」 → 「Intra/Inter」 → 「Domino/Effect」

Many people discussed the pros and cons of Globalization. It is good to see that you were talking about such a valance of view. And also many people came up with positive things.

Positive things that I paraphrase are the exchange things (it's just not only economy but technology, culture or people), opportunities (technology or knowledge from developed countries to developing countries), a rate of advancement, and tolerance for each other. Those would benefit the whole world. And as for the other side of globalization, the gap of development, conflict, leadership (reality of leadership is being exclusive of global agenda) and universal (every culture has universal). It was very impressive how you understood what is needed at the country level, and what you should do if you turn to a global. Also, both in a good or bad way, one thing starts and it affects another and another and another.

マインドマップで思考を整理してきましたが、いかがでしたか？例えば、言語の壁の話では、英語だけがグローバルスタンダードに立った言語である必要はない、また共同体を作るに当たっては差別の壁を乗り越えないといけないなど問題が明らかになったと思います。改めてより深くグローバル化について理解を深め、グローバル化が進む中で、自分達がこれから生きていく社会はどんな社会になることが望ましいのかについても見つめ直す機会になればと思います。



ここからは **FREE TALK** 形式で今日の取り組みを振り返ってみたいと思います。

●異文化から学ぶというキーワードがありました。何か異文化から取り入れていることってありますか？

帖佐

私は留学中に自己主張をすること、自分の意見を言うということ、お互いに言い合うことの大切さを学び、自分が変わったと思います。

海外を旅行したとき、現地の人に道を聞かれた経験があります。外見からその人を判断していない、人として距離が近いことを感じました。日本では、どうしても外見から外国から来た人、日本語が通じないのではと距離を取ってしまうことがまだまだあると思います。

西田

山田

私もタクシーに乗ると、運転手の人に、恐る恐る「日本語は話せますか？」と聞かれます。まだまだ言葉の壁の問題が大きいと感じます。一方で、私のクラスに、帰国生で英語をネイティブに話すのに日本語で話しかけてくる生徒がいます。理由を聞くと、先生には敬語を使いたいからと答えが返ってきて、言語の選択の理由について感心しました。

●テクノロジーに公平にアクセスできない情報難民の存在がありますが、技術の進化が加速する中で、情報難民を取り残さずグローバル化を進める方法はあるのでしょうか？

山田

アフリカの国でも大手の通信会社が、衛生を打ち上げ大規模なワイファイ環境を整えようとする取り組みがあります。アフリカは企業にとって未開拓な市場でもあるわけです。インターネットへのアクセスは今後の大きな課題であり続けますね。

普段考えない問題ではあったけれど、私たちの周りでも、キャッシュレスなどの仕組みの導入で、知識もありスマホを使いこなしている人だけが恩恵を受けるようになってきていることは気になります。難しい問題だけれど、色々な立場の人の声を聞くことは必要だと感じました。

帖佐

西田

今後も世界の情報化は加速し続け、その中でグローバル化は情報に素早くアクセスすることで恩恵を受ける人たちのためだけのものになっていないか、この問題はとても重要な課題だと感じています。

たくさんの疑問が湧いてきますね。世界的な視野に立つという点で、言語においても、情報化においても、教育というものがとても大事なテーマだと気付きます。この学校にも様々な教育を受けてきた生徒たちがいますが、どのような教育があるのかを知って比較検討することも、これからのグローバル化にとっては必要なことだと感じます。

山田

西田

今まさに、必然的に進んできた「グローバル化」の正しい方向を皆が模索しているところですね。様々な定義が出てきたように、色々な人が色々な思いでグローバル化の姿を探しているところ。本当の意味でグローバルスタンダードに立った人たちによって支持されるグローバル化が生まれたらいいと願います。それにはコミュニケーションが不可欠です。言語の問題を乗り越えて、話し合うことの重要性を改めて感じました。

マインドマップを使って、グローバル化の定義について一緒に考えました。こういった手法を取り入れることで、物事を整理し議論をより深めることができましたと思います。本当は教室で皆さんと実際にやってみたかったのですが、今後も参考にして欲しいと思います。今回、グローバル化の問題点やこれからの方向性についてたくさんの気付きや、ヒントがあったと思います。これからの高校生活でも引き続き学び、問題解決に取り組んでいきましょう。

2020/11/28 SSS（高校1年生）－授業－ONLINE

SDGsについて振り返ろう！クイズ大会！

対面式講座：新島記念講堂にて

「みなさんこんにちは！オンラインではお会いしていたのですが、初めまして！」

坂下教諭と山田教諭の司会のもと、同じく SSS 担当の帖佐教諭と松野教諭も加わり初の対面式での SSS 講座の開講です。今回の講座は、今まで学んできた SDGs について、「kafoot」というクイズ型アプリを活用して、全員参加で振り返ります。SDGs クイズ大会に臨む生徒たちは、前後で 2 人 1 組のチームとなり、チーム名を登録すると既に盛り上がっています。さらに西田教諭、福田教諭も加わった担当教員全員から用意された景品をかけて、いざチーム対抗戦のスタート。全 41 問、早押しで正解上位 5 チームが 1 問ごとに発表されます。

第 1 問目：SDGs は何の略ですか？

坂下「サービス問題からです！」

難問、また英語での問いも入り交じる中、正解発表の都度に入れ替わる順位に生徒たちは一喜一憂しながら、一生懸命クイズに解答していきます。

SDGs のほぼ全てのゴールを対象とした出題であったため、クイズに答えながら改めて世界の情勢を知ることにもなりました。出生登録がされず法的に存在しない子どもの数を問う出題

でも、回答をはるかに上回る数の多さに（世界の 5 歳未満の 4 人に 1 人が出生未登録）、不正解だったことよりも現状に驚いた様子を見せていました。自分たちの住んでいる世界と世界の現状のギャップにも改めて触れてもらえた時間になったと思います。



第 38 問目：BS テレビ東京「SDGs への道」でコーナーキャスターを務めている皆さんの先輩は誰でしょう？こうして楽しくあっという間に最終問題に。結果はなんと大逆転で優勝チームが決まりました。その時の様子です→<https://youtu.be/qq9QEy23GfE>
常に現状を知ろうとする姿勢でいて下さい。3 学期に元気な姿で会いましょう！

2021/01/09 SSS（高校1年生）—授業—ONLINE

大阪府立大学 武田重昭先生

オンライン⑩担当：帖佐香織教諭、福田なな子教諭



大阪府立大学大学院にて、街作りをテーマに研究をされている武田重昭先生を訪問しました。訪問者は、帖佐香織教諭と福田なな子教諭の2人です。今日は、伺ったお話から印象的だったことを皆さんとシェアしたいと思います。お招きいただいたのは、倉庫をリノベーションした素敵なお自宅でした。

●アムステルダム

帖佐教諭と福田教諭が訪ねた街の中でも、好きな街として挙げたアムステルダムの話題になりました。不思議と何度も訪れたいくなる街の1つです。この街もなんとなくオシャレであるということではなく、近年に至るまで人々の創意工夫により愛される街として築き上げられてきたものだとして改めて教えていただきました。「I amsterdam」キャンペーンとは、2003年にアムステルダム市が行った都市プロモーションです。「I amsterdam」という言葉から分かるようにアムステルダムに住む人、来る人、関わる全ての人々がアムステルダムを表現する存在であるというメッセージが含まれています。4年ごとの長期的なマーケティング施策を実行するべく市、地域行政、企業、観光局によって構成されるアムステルダムパートナーズにより課題の解決に取り組み、同時に新たな政治的施策やあらゆる分野のプロジェクトを展開するにあたって都市プロジェクト支援に繋がるためのキャンペーンが展開されました。その結果、アムステルダムの認知度やイメージが向上したばかりでなく、人々が愛着を持てる街、心地よい街、誇れる街へととなり、このロゴも人々に愛されています。

●1人1人が街作りに影響を与えられる1人

アムステルダムの話からも、私たち住民1人1人が街作りに影響を与えられる1人だということを改めて考えました。誰もが素敵な街に住みたいと感じているはずです。素敵などころを探すこともできるけれど、自分たちの学校、今住んでいる街、そして結果的に世界を素敵にすることのできる1人でもあります。武田先生は、そういった主体的に考える意識を持つことの大切さを話して下さいました。そういった観点から、先生は「街作り」は「人作り」だと感じ、研究を続けながら教育に携わろうと考えたそうです。自分たちの街を素敵な場所にしたいと思い行動する人が増えたら、自分たちの街に愛着を持つことのできる人が増えたら、と願い夢が大きく膨らみました。

街を素敵な場所にするには、難しいことばかりではありません。例えば、先生が研究されている公園のあり方や街の緑地化では、人々の集える居心地の良い公園が近所にあるだけでも、その公園に面した素敵なカフェがオープンしたり、またゆっくり散歩やランニング、森林浴ができる心落ち着ける自然が身近にあるだけでも、その地域が豊かになり愛着が湧くということを教えていただきました。そのためどんなことができるのか、何が問題なのか、どうすれば解決することができるのか、この講座を通してこれからも学び、考えて、小さな事でも実践できればと考えています。

【1月16日 問題解決の手法 実践編その1】

オンライン⑱

今回は、2学期に解説を市取り組んでもらった「問題解決の手法」の実践編その1です。課題プリントを各自で考え、取り組んでみましょう。

■プリント「問題を解決する」…その手法を学ぶ 実践編

【1月23日 問題を解決する手法を学ぶ 解説】

オンライン⑲講師：福田なな子教諭、松野翔太教諭、山田ショーン教諭

前回取り組んでもらった課題プリントの解説を行います。問題を解決するためには、まず問題点を分解してみて、順序立てて考える必要があります。どうやって順序立てて考えていくか、論理的問題解決のコツを学びましょう。



①カテゴリーごとに分ける

多くのデータから、けっして思いつきや勘ではなく、根拠、理由を持って整理する。

例えば、多くの都市の名前が混在していたら、国、大陸ごとに表にまとめてみる。アスンシオン？アディスアベバ？

都市/City	国/Country, Nation	大陸/Continent
アスンシオン	パラグアイ	南アメリカ
アディスアベバ	エチオピア	アフリカ

★数学の問題でも同じ事！問題点はどこに？どのような順序で？どの公式で？

★カテゴリー分けされているとその後とても比較検討しやすい

②情報の整理

多くのデータがあるが、批判的に捉えてみる。

例えば、ある企業のPRにある「会社の強み」から違和感を挙げてみる。

会社の強み	強みに対する違和感
従業員の平均年齢が低い	長く続かない？経験が蓄積されない？
製造コストの削減の成功	どの程度か具体性に欠ける
最新設備導入、生産効率向上の実現	コスト削減の言い換え？ただの重複？

★良い響きが必ずしもその通りとは限らない

★論理の穴や論理の飛躍がたぶんに含まれている事が多いので疑ってかかる

●補足：論理の飛躍・隠れた前提とは

私達は論理の暗黙の前提の上に主張を積み上げて論じていることがあります。
例えば、「ゲームは時間のムダである」という主張について隠れた前提を考える。



前提 1	ゲームは生産性がない
前提 2	生産性のないものはムダである
主張	よって「ゲームは時間のムダである」
反論 1	ゲームはほんとうに生産性がないの？
反論 2	生産性のないものはムダなの？

- ★主張をする際には、自分が思うことはなぜ他の人にも適用されるべきなのか考える
- ★共有できない前提をもとに主張をしていないか注意する

③どのようにカテゴリー分けをすればいいのか

全ての手段をあげて、そこからカテゴリーを考えてみます。

例えば、京都から東京までの移動手段を比較検討するためにカテゴリー分けをする。
「新幹線、JAL、バス、青春 18 切符、こだま、自家用車、Peach、学割、徒歩、、、」

交通機関	交通機関の種類	方法、会社、チケットの種類	
鉄道	新幹線	のぞみ	普通
			EX 早割
			学割
		ひかり・こだま	普通
			EX 早割
			ぷらっとこだま
在来線	JR	普通	
		青春 18 切符	
飛行機	フルサービス	JAL	
		ANA	
	LCC	Peach	
		Jet Star	
自動車	自家用車	高速道路	
		一般道	
	バス	夜行バス	

- ★大きなカテゴリーから徐々に詳細に分けていく
- ★比較検討したい項目でまとめる（上にはないが、料金や所用時間など）
- ★MECE の考え方で分ける

●補足：MECE(Mutually Exclusive and Collective Exhaustive)

フレームワークの多くに共通する考え方で、無駄なく正しい選択をするために「モレなく、ダブリなく」を意味します。

- ・反対とそれ以外を考える
(電車ではないもの何かな?)
- ・色んな角度から見過ぎない
(論理性はほぼ共通。より多くの人々が共感する事項でないと論点にならない。)
- ・とにかく漏れに注意する
- ・既存のフレームワークを使う
(同じ次元で多くの人と共有できる。)



今日勉強した観点から、取り組んだ課題をぜひ再度見直してみてください。実際にやってみることがとても大切です。そしてこういった手段は今後の様々な場面で役立つものです。ぜひ様々な場面で論理的に語る人可以になりましょう。

【1月30日 問題解決の手法 実践編その2】

オンライン②講師：帖佐香織教諭、坂下淳一教諭

「問題解決の手法」の実践編その2です。本講座の動画を視聴し、課題プリントに各自取り組んでもらいます。2学期に取り組んだ論理的問題解決の手法である、マインドマップ、ロジックツリーを覚えていますか？漏れなく、ダブリなく、物事を整理していくということは、前回の講座でも何度も耳にしたことです。そのことを踏まえて改めてロジックツリーで論理的に物事を整理してみたいと思います。

●かみ合わない会話の原因を考えてみましょう

坂下「東京までどうやって行きますか？」

帖佐「マイルが貯まっているし JAL で行こうかな。」

坂下「僕は飛行機で行こうかな。」

帖佐「?? (JAL と飛行機一緒!?)」

帖佐「他の交通機関はどうですか？」

坂下「高速道路で行こうかな。」

帖佐「?? (高速って交通機関!?)」

→かみ合わない原因は、同じレベル（階層）で比較検討して論じていないためです。

前回の「③どのようにカテゴリー分けをすればいいか」、カテゴリーが「交通機関」である航空機と、カテゴリーが違う「方法、会社、チケットの種類」である JAL を比較検討した会話になっていました。

●Logic Tree

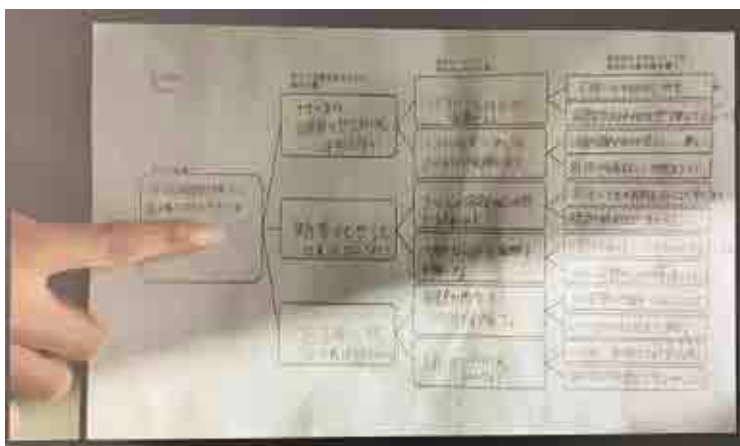
生徒が Logic Tree のフレームワークを使って問題解決のためにカテゴリー分けをしたものの中から、ひとつの例を紹介します。

テーマは「様々な宿題を効率良く正確に仕上げる」

↓テーマを解決するための視点を書く

↓視点についての具体的な内容を書く

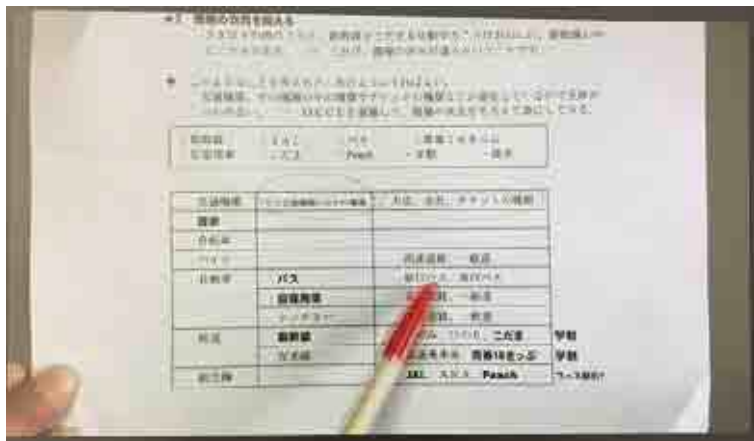
↓具体的な内容についての具体的な解決策を書く



1つ1つの要素に分解して、さらに分解することによって漏れなく導いているという点でとてもよくできていました。

●Logic Treeに取り組んでみよう

前回の東京への移動手段でのカテゴリー分けでは、交通機関の次のカテゴリーである交通機関の種類が抜けているケースが多く見られました。比較検討する上で、何をカテゴリー



を設定して細分化するのは大変大切な要素になります。前回の解説も合わせて、課題に取り組んでいきましょう。左の表も実はロジックツリーです。今回使用するロジックツリーのフレームワークは、誰にでも要素を分解して階層的に把握しやすいものです。

前回まで取り組んだ、原因をさ

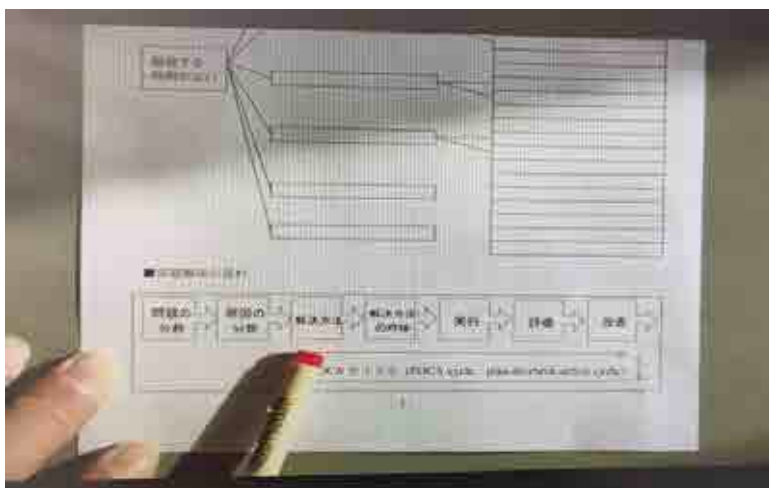
ぐり、モノを分類するところから、今回はさらに解決する方へと導く手段です。

問題の解決

- ↓原因の分析
- ↓解決方法
- ↓解決方法の吟味
- ↓実行
- ↓評価
- ↓改善

また解決方法へ

PDCA サイクル (Plan-do-check-action cycle)



【課題：実践編「勉強する時間がない！」ロジックツリーを作成】

今日の講座を参考に、皆の生活に関係あること、もうすぐテスト前でもありますので、「勉強する時間がない！」という問題について各自ロジックツリーを作成してみましょう。

【解説】

オンライン 講師：帖佐香織教諭、坂下淳一教諭

皆さんが課題として取り組んだロジックツリーを元に解説をします。どうすればより明快地に問題解決に導くための完璧なロジックツリーに近づくか考えてみましょう。

皆さんのロジックツリーの傾向として、問題の分析ではなく、並列した問題を挙げている例が多くみられました。

(並列した問題の例)

- ・やる気がない

・勉強する習慣がない

→これは、勉強する時間がないという問題に対しての分析ではなく、並列した問題であり、別のロジックツリーが必要です。

(正しい問題の分析の例)

・部活が忙しい

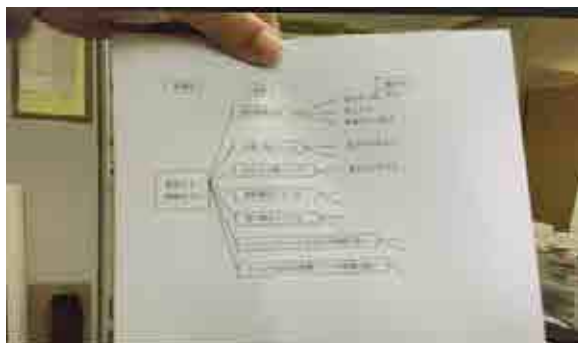
・通学に時間がかかる

・家事の手伝い

(最近の傾向だと感じた例)

・You tube をしすぎる

・スマホを触っている時間が長い



本来勉強をする時間に対して、その時間に何をしているか、相反することを考えてみれば、自ずと分析ができると思います。そこから、どれを削り、どこを工夫して、勉強する時間に充てるか、分析によって問題解決につながるはずです。

教員 2 人の高校時代の勉強時間についての経験談へと話が広がりました。

●坂下教諭の場合

(成功例) ・通学時間も長く部活をしたかったが、週一回のスポーツのスクールを選択

・国語の勉強が苦手で、とにかく継続的に読書を試みて様々な成果となった

・塾に行ってみたがお金も時間も無駄だと感じ、自分で勉強することを決める

(失敗例) ・当時話題になった睡眠学習を試して、単なる心地よい睡眠になってしまった

●帖佐教諭の場合

・みんなと同じように塾には行ったが、自分では映画を 1 年間で 100 本観ると決め 3 年間やり遂げたことが自信に

失敗も経験値、高校時代は失敗体験から分析をしてまた挑戦といった (PDCA サイクル) ことができるよい機会でもあります。前進するプロセスが大事、また自分で決めたことには責任を持ち成果に繋がります。積み重ねは自信にもなります。限られた高校時代を、気付かずになんとなく時間を過ごすのではなく、有意義に、失敗も恐れず経験を積んで欲しいと願っています。高校時代の経験は後に大きな意義をもち、大人になって当時のことが現在に繋がっていることに気付くものです。



返却されたロジックツリーを見直して、皆も今回の課題にとどまらず、実生活に、そしてロジックツリーを作成して気付いたことを今後の参考にして欲しいと思います。

【2月6日 著作権について】

オンライン②

今日は、すでに「情報の科学」の授業で一通り勉強している「著作権」についての確認クイズを行います。なぜ今この授業をするかという、しっかりと二つのことを意識して欲しいからです。

【1】他人の権利を守るということ 私達の周りにはあふれている、さまざまな著作物・成果物は、人びとに利用されることによってその価値が生まれることがほとんどです。ですから、著作物・成果物を自身のレポートやその他の形で利用することは問題ありません。しかし、自由に、好きなように扱うことが許されているわけではありません。その著作物・成果物を産みだした人の「努力と苦労」を正当に評価するために著作権はあります。この権利を守ることは、利用者側の義務ともいえるでしょう。

【2】著作物・成果物にはさまざまな権利関係がある さらに、著作物・成果物は単にみなさんの想像する「作者」の権利だけでなく、さまざまな権利関係によって成立しています。出版者の権利や、作中の発言者の権利、利用した写真の撮影者の権利、写された人の肖像権などなど、一つの著作物・成果物を利用するためには、いろいろな権利関係に配慮する必要があります。次回の授業以降で、ドイツのフライブルクという町のとりくみについての動画を見ます。フライブルクは「環境都市」といわれており、環境問題やSDGsについての先進的な取り組みをしている町です。この動画の中には、いろいろな権利関係で守られている資料が入っています。ですから、みなさんはこの動画を勝手にダウンロードしたり、配付したりすることは許されません。これからみなさんが、いろいろなリサーチをしていくと、このような資料を扱うことが多くあると思います。そのみなさんの著作物に関する権利意識を確認するために、今回このクイズを作りました。全問正解目指してがんばってください。必要ならば、「情報の科学」のノートを見直したり、後に上げるホームページを参考にしてください。クイズはフォームになっています。最後まで入力しないと、提出したことになりませんから、気をつけてくださいね。

参考になるサイト：公益社団法人著作権情報センター

<https://www.cric.or.jp/index.html>

●著作権に関するクイズ

Q1 昨年で休止した「嵐」のアルバム曲の中から1曲だけCD-Rに録音して、親しい友人だけに手間賃として100円で売る。

→違反！楽曲を著作権者の許可無く売る行為は著作権違反です。

Q2 文化祭のマスコットとして、名探偵コナンを描いて、チ



ラシを配った。

→違反！有料か無料かに関係なく、不特定多数に配布される（だれでもがもらえる状態になっている）印刷物に著作権のあるキャラクターを起用するのは、違反です。

Q3 学校案内のキャラクターとして「くまモン」を採用して、「くまモン利用許諾事務局」に利用申請をした。

→利用料はいらない！「くまモン」は著作権放棄していませんが、使用料に関しては請求しないとしているキャラクターです。これは、「著作権フリー」とは違います。こういうものは、「ロイヤリティーフリー」といいます。

Q4 『鬼滅の刃』の竈門禰豆子をきれいに写してポスターを作って、学校の壁に貼って、体育祭を道行く人に PR した。

→違反！手書きのコピーであっても、キャラクターを広報等のために許可なく使用することは、著作権法違反です。

Q5 『クレヨンしんちゃん』の「野原しんのすけ」の顔を「野原しんのすけ」とはすぐにはわからないくらい超イケメンにしたポスターを作って、学校の壁に貼って、体育祭を道行く人に PR した。

→違反！もともとの著作権者の意図を無視した改変（原作者が書きたかった形とは異なる変更）は著作権違反になります。

Q6 二人の思い出の曲（ゆずの「夏色」）を歌って自作 DVD を 1 枚だけ作成し、恋人にプレゼントした。

→違反していない！大量に配布するのではなく、その人にだけの無償のプレゼントの場合、私的コピーとして扱われますので、著作権違反にはなりません。

ただし、これを Youtube に載せると、著作権侵害になります。

Q7 先生が今日の新聞をコピーして授業で資料として使う。

→枚数によっては違反！著作権法では、教育に使用する目的で生徒数分コピーすることは、特別な事例として保証されています。著作者に許可を得る必要もありません。

Q8 授業中に怒っている先生の様子をこっそりと撮影し、許可を得ずにその写真を学校新聞にのせた。

→違反していないが別の理由で新聞は発行できない可能性がある！「著作権」は「著作物」に対する権利です。ここでの「著作物」は撮影した「写真」ですから、この写真を撮影した人に「著作権」があります。ですから、著作権は侵害していません。

ただし、写真を写された先生の方は「肖像権」を請求して、撮影された写真および学校新聞の発行の差し止めを求めることはできます。

Q9 読書感想文の宿題にこまって、Web ページにのせられているものからほとんど写して書く。その Web ページには、「著作権フリー」と書いてなかった。

→違反！著作権では、引用する場合には、出典（もともとどこに書いてあったか）を明記することを義務づけています。また、「引用」とは、あくまで自分の書いたものが主(main)で、

引用する文章が従(sub)であることを明記しています。このクイズのように、【ほとんど】を使うと、著作権違反です。

Q10 先生がコンクールに出す生徒の読書感想文を見直していて、期限が迫っていたので、気になった部分を生徒には言わずに直す。

→違反！世の中に作品が誕生した瞬間から、著作権で守られます。作品が有料かどうかは関係ありません。いくら善意であっても、勝手に直すと著作権にふれます。

Q11 僕は週刊少年ジャンプ、友達は週刊少年マガジンを毎週買って、読み終わったら交換することにしている。

→違反していない！個人的な交換は、著作権違反になりません。ただし、デジタルデータなど、劣化せず、交換後相手と自分の両方の手元に残り続けるものは、著作権違反になります。

Q12 昼の校内放送で「BTS」の新曲のCDを流す。

→違反していない！教育機関において、営利を目的とせず、在籍する生徒のために放送されるものについては、著作権は放棄されます。ただし、学校関係者外も聞くことを前提にする場合は、著作権で保護されます。

Q13 「霜降り明星」の粗品さんは、本校の卒業生です（知ってますよね）。そこで、録画した「霜降り明星」のM-1グランプリ優勝の時の映像を、昼休みに Communication Center(CC)でみんなに見てもらえるように映すことにしました。

→違反！TV番組の著作権はきびしく制限されています。ライブ配信・映像については、誰がどこで視聴してもかまわないので、CCでもカフェでもホールでも上映できます。また、録画した番組を教育目的で、録画した先生の受け持つクラスで上映することは1回については、認められています。しかし、不特定多数がみられる状態で録画を上映することは、著作権違反になります。録画した番組をデータにしてネット上にアップロードするのももちろんダメです。

Q14 モデルでタレントのトラウデン直美さんも、本校の卒業生です（これも知っていますよね）。彼女が出演するテレビの生番組がちょうど学校の昼休みにあったので、CCのTV-pitでLIVEで流すことにした。

→違反していない！Q13のところでも説明しましたが、テレビの番組をリアルタイムで放映するのは、違反ではありません。電気店とかで、たくさんのテレビが映っていますよね。

Q15 著作権で守られるには、「この著作物は著作権で守られています」、「無断転載を禁止します」と書いたり、©マークをつけたりして、自分の著作物であることを宣言する必要があります。

→正しくない！著作物の著作権は、著作物がこの世に誕生した瞬間から発生します。これを「無方式主義」といいます。著作物によってこの著作権の及ぶ期間が定められています。期間を超えたものは、著作権が消滅し、誰でも自由に利用できるようになります。

Q16 江戸時代に出版された書籍を手に入れたので、ネット上にテキスト化してアップした。

→違反していない！著作権は、作者がはっきりしているときは、作者の死後70年、はっき

りしていないときは、出版後70年と定められています。それ以前の出版物については、著作権は消滅しています。

Q17 自分が頭の中で10年間考えてきたアイデアと全く同じプランを、別の人が先に形にしたので、著作権侵害でうったえた。

→侵害にならない！著作権は、「表現されたもの」でないと著作物になりません。自分の頭の中にある考えは、著作物ではありません。

Q18 ネット上にTVを録画したものが無断でアップされていた。面白そうなのでダウンロードして、自分のスマートフォンに保存した。

→放送物は、放送されたことで著作物とみなされます。それを無断でアップロードすることも、無断で世アップロードされたものだと知っていてダウンロードすることも違法です。

Q19 動画の中に、他人が著作権をもっている静止面を利用した。その動画を見た人が、勝手にSNSにアップした。

→著作物の中に他の著作物が含まれる場合、その両方に対して著作権への配慮が必要です。

Q20 著作権に守られている資料を引用する場合、著作権違反となる要件は？

→自分の文章の中心的内容に使用している。分量ではなく、中身が重要。

Q21 引用をするときには、出典を明示する必要があります。図書の出典表記で必要なものは何ですか。もっとも必要でないものを選びましょう。

→ページ数は書誌情報としては必要ですが、出典情報としては、なくて大丈夫です。

Q22 引用をするときには、出典を明示する必要があります。映像資料の出典表記で必要なものは何ですか。もっとも必要でないものを選びましょう。

→主演がだれかというのは作品情報としては重要ですが、出典情報としては不要です。

Q23 引用をするときには、出典を明示する必要があります。Webページの出典表記で必要なものは何ですか。もっとも必要でないものを選びましょう。

→URLがあればページタイトルはなくてもいいです。でも、ページタイトルだけではよく似たタイトルのページがあった場合にたどり着けないのでダメです。

Q24 今度の授業では動画を見ます。動画を利用する上で、著作権法上どのような配慮や注意が必要ですか。また、してはいけないことは何ですか。自由に答えなさい。

→動画を勝手にダウンロードしたり、配付したりすることは許されません。

皆さんお疲れさまでした！どれくらい正解できたでしょう。間違った設問は、今後のためにも解説をしっかりと読み、理解してください。

【2月20日 フライブルクより-前田成子さんをお招きして】

オンライン②講師：帖佐香織教諭、福田なな子教諭、坂下淳一教諭

今回のオンライン講座は、ドイツフライブルクの街づくりについて、フライブルク在住の前田成子さんと繋いでお話を伺います。以前フライブルクにフィールドワークに訪れた皆さんの先輩も出演してくれました。オンラインを活かした講座になりました。

日本から多くの国会議員や各地の市役所からもフライブルクの環境政策や街づくりを学びに行っていますが、前田成子さんはその際に案内や解説もされている方です。特別に今回はお話を伺うことができる貴重な機会を得ました。



●前田成子さんのご紹介

環境政策に力を入れているドイツの中でも、環境首都として世界中から注目されているフライブルクの環境政策について、過去30年近くにわたり日本に紹介されています。現在はフライブルク市経済観光公社にて「フライブルク市環境セミナー」のコーディネーターをされています。フライブルクが日本でも知られることになるプロセスに、また日独国際交流にも大きく貢献をされ、外務大臣賞や旭日単光章を授与されました。簡単にお目にかかれる方ではありません！

●講演「フライブルクの環境政策」 前田成子さん

フライブルクを知っていましたか？フライブルクを取り巻く環境から、街づくり、環境意識の形成、原発設備廃止など今日に至るまでの背景についてまず説明してくださいました。フライブルクは、フランスとの国境に位置し、ライン川を有し、ワインの産地（南ヨーロッパの暖かな日差し）、またシュバルツバルト（黒い森）の街としても知られています。環境都市への道のりは、フライブルク近郊に1970年代初頭に原子力発電所の建設計画が持ち上がった時の市民の反対運動に始まったそうです。フライブルクの環境政策の歴史はさらに遡ると、戦後、古き良きを重視した街の再建を目指したことに大きく関係します。シュバルツバルトを守り、自然を愛するライフスタイルから、全ての政策において、環境保護につなげて実践してきたこと、相互的に考えて問題を解決してきたことが、まさに Sustainable City を形成しました。大きな産業はなく資金面では決して豊かとはいえない状況で、大学の街らしく多くの学術関係者が知恵を絞り、市民を巻き込んでアイデアが集まり、街づくりをしてきたというお話もとても印象的でした。

フライブルクの街づくりのフィロソフィーから、近郊のブライトナウ村のエネルギー政策までお話を伺った主な項目です。

【フライブルクの街づくりのフィロソフィー】

・自然景観保護面積50%を守るための自然保護法

- ・5本の指の緑の都市計画
 - 【車社会からの脱却】
- ・トラムの有効活用
 - パークアンドライド
 - 3つの柱（ショートウェイ/コンパクトシティ/ソーシャルシティ）
 - 川の整備（中心街を流れる小川）
 - 環境定期券（レギオカルテ）
 - 【エコタウン ヴォーバン地区】
- ・上海万博でドイツの都市計画代表で紹介もされたエコ住宅
 - 【森の幼稚園】
- ・自然との共生と大切さを幼少期から育む教育
 - 【ブライトナウ村のエネルギー政策】
- ・地域エネルギーで村おこし



交通政策が中心となるお話の中で、持続性のある交通計画はあくまでも不便になるのではなく、皆が便利だと感じる機能が大切だということでした。その結果、皆が歩きたくなる街、心地よく幸せを感じる街になっていると伺い、大変理想的だと感じさせられました。政策の合意のお話では、あらゆる政策が相互的に絡み合っているという点で、車社会からトラムへの移行がCO2排出の削減ばかりではなく、騒音の軽減、地下水の環境保護、景観、生活の安全やすやすさ、福祉にも繋がっているとのこと、市民参加社会の重要性にも気付かされました。

【質問・歓談の時間】

「心地いいことって大切」

印象深い言葉でした。けして環境政策が1番だったわけではなく、全てが環境問題につながり関わりのあることの自覚が必要だということです。目的は心地いい生活ということです。

「政策の素晴らしいアイデアやノウハウはどうやって生まれたのでしょうか」教員の質問に対して

理想があって、古き良きを守るという共通した理念のもとに、全ての政策が考えられています。様々なレベルの様々なクオリティーの人達がタイアップしていること、そして合理的に考えて議論に感情、情緒を挟まないドイツ人。アンチテーゼが理論的、アカデミックでかつ合理的であれば議論が成り立ちます。日本人、ドイツ人の特性も違うと思いますが、様々な人達を巻き込みながらも合理性を重視するドイツ人の思考が大きく関係しているかもしれません。

「フライブルクの街ぐるみの環境政策はどこから？」卒業生の質問に対して

首相の片腕でもあった官僚が「環境は文化である」と言いました。環境は文化政策に通じる大切なもの、生活の周りのものが全て環境に関わっていて、自然との共生のバランスが崩れたときにはその原因を考えるのがドイツ人。1人1人がこういった価値観を持って行動しています。私も最初にフライブルクに来たときに街の美しさに感動したことを覚えていて、これを守りたいと思いました。「感動、感激したこと、初心を忘れずに」と今も常に思っています。



「大量生産、大量消費の悪循環についてどうすればよいか」卒業生の質問に対して

全体の流れを戻すことは難しくしても、地域ごとに、企業だけでなく、地域住民、大学やアカデミックな方面からも、皆一緒に円卓で考えることが解決に繋がると思います。「私」が部外者ではなく、参加できるシステムが構築された社会を作ることが大切だと感じます。1人で考えず巻き込む工夫が必要だと思います。

「日本にもいっぱいいいところがありますよ」

これは言うておかなくてはいけないといつも思っていますとおっしゃいました。日本にないものを紹介しているけれども、日本にもいいものは多くあって、ドイツの考え方ややり方をヒントに「日本に合ったもの」「日本らしいもの」を生み出すことがいいのではないかと思います。外からみて改めてわかる日本人の文化、人柄、まじめさ、などの評価は高くとても素晴らしいものです。

気付けば2時間近くあっという間に時間が経っていました。多様なバックグラウンドの国際の生徒達が知恵を出し合い今後の課題に取り組むことはとても楽しみです、と期待を寄せてくださいました。今回の貴重なお話から、改めて住みやすい街のイメージ、休みの過ごし方、買い物や日々の暮らしを考えるきっかけにもなればと思います。前田さんはとても偉大な方にも関わらず、とても謙虚で穏やかで、またポジティブで、素敵なお人柄が伝わってきました。大好きな街で日々を心豊に過ごされているご様子も何うことができました。私達も改めて様々な人達との出会いを大切にしようと感じます。貴重なお時間と貴重なお話を本当にありがとうございました。